

は自分等の希望してゐるものとは、其の違が餘程
大いやうに思ひます。この點は十分保育の任に當
る人が、父兄等の意見も聞き、又理論も考へ、經

験にも訴へて講究すべき一の大切な問題であらう
と思ひます。(談、文責在記者)

歐米初等教育近時の傾向(二)

(フレイベル會二月例會に於ける講演大要)

東京高等師範學校教授 棚橋源太郎

兒童の實驗的學習

前の作業教授に關聯した事柄で、子供の知識は
子供自らの實驗に依つて會得せしむるといふ教授
法が一般に行はれてゐます。つまり、總の事柄は
子供自らの手で實驗し、發明して、其の知識を得
て行くので、教師が注入的に教へ込むのではあり
ません。例へば植木の萌發といふことを知らしめ
やうとしますと、實際に子供に種を蒔かして見
て、温い室内と寒い室外とに又水氣のある皿と乾

いた皿とに、それで以て萌發には溫度や濕氣の必
要といふこと、根から先きに生へるといふやうな
ことを會得せしめ、それをノートにスケッチせし
めて置く。教師はたい次の時間にそれを土臺にし
て、教授を進めて其知識を擴充し系統立て應用の
方面を知らすといふだけに過ぎないので、根本
の要素は子供自らが發見するものであります。鉛
の比重を教へるにしても、子供自らに水の中で計
らしめ、其の結果を書き取らせ更に各生のを通算

して決定するのであります。比重の如きは實驗者によつて、必ず幾分の相違はあるものですから、教科書にあるもののみが正確な比重とは云へないので、子供が正當に實驗したものは、矢張り正確な比重であるとして、少しの誤りもない譯であります。

子供にさういふ實驗を行はしむる爲めには、子供相應の參考書を與へて置く。子供は自由にこれを参照することが許されてあるのであります、斯の如くして子供自ら知識を見出し學んで行くので飽くまでも發動的であります。其の結果子供自ら教科書を作ることになります、併し先生の教へる事柄を無我夢中で、一から十まで筆記する受動的な教授ではありません。勿論、先生は生徒の發問に對しては親切に答へ、且つ如何にすれば知識を發見することが出来るかといふことに就て十分の暗示や助言を與へますけれども、要するに先生は

監視者たるに過ぎないのであります。

獨逸に於ける美的教育

獨逸の初等教育に就いて、もう一つ申し上げなければならぬ問題は、子供の美育といふことが近來非常に重大視されて來たことであります。これも教授上の主義として、すべての學科に通じて行はれてゐるのであります。これは教育學術進歩の結果、吾々の美しい感情や趣味性はどうしても藝術の力に俟たなければならぬ、藝術と教育とはどうしても離すことの出来ない關係があるといふことが明になつて來た爲めでありました。これは日本の教育に於いて、殊に注意すべき事柄であらうと思はれるのです。現今の小學校に於ける圖書教授の如きはこの見地から一大考慮を要すべきものと思ひます、尋常師範學校を卒へたゞけでは餘程の天才ならば兎も角も、普通の人には、どうして子供に繪を教へることが出来ませう。一國美術工

藝の基礎たる圖書教授の改良圖書教師の改造といふことは日本の初等教育上最も急を要する仕事であらうと思ひます。然しこれは獨り圖書のみではありません。唱歌、手藝、家事、體操等に於いても、同様の感を抱くのであります。

獨り教授上に止らないで其の外、校舎、校庭の如きも飽くまで、建築美といふものに注意して、周圍の事物から自然と子供に美的趣味を養はしめるやうに努めて居ります。又、教場の裝飾にしても、廊下の壁などは日本のやうに白壁を用ゐないで、元始的な單純な子供の趣味に合ふ様な模様や模樣的な繪が畫かれてあります。又教室の壁にも特に其の目的で製作出版された子供向きの裝飾畫が掲げられてあります。稍上級になりますと有名クラシカルな古典的な繪畫の複製を掲げて置くといふやうにして、努めて裝飾に意を用ゐて居り、其れに費す費用は實に多大なものであります。庭園の如きも

日本のやうに、かういふ殺風景なものではなく、もつと自然の風致に富み、綺麗になつて居ります。音樂は殊に盛んであります。小學校でも三重音や四重音を課し、高等女學校になれば、生徒仲間てピアノ、ヴァキオリン、セロ等の團體が出來てゐまして、學校内の何かの會には常に合奏が行はれて居ります。父兄會などの場合には、勿論いろ／＼な仕事はありますが、其の中心は矢張り音樂であります。

美育としての學校芝居

美的教育の一方法として、近時流行を極め、注意すべき事柄は、學校芝居であります。獨逸では田舎の小學校下さへも此の學校芝居が盛んに行はれて居ります。其の脚本とも云ふべきものが「通俗少年芝居」と云ふ題で叢書になつて居ります。筋は極く簡單なもので、普通の昔話を巧みに面白く綺麗に脚色したもので、諸處に簡單な詩が編

み込まれて居ます脚本には之に對する樂譜から科
白舞臺上の衣裳、書き割其他の注意が一切興へら
れて居りますから、教員も子供もこれに依つて自
ら舞臺を作り、劇を演ずることが出来るのであり
ます。私の一度見たのは一幕が十分位かゝるもの
で、それが五幕程になつて居りました、高等女學
校などでは、文學の先生が其指導の役を務められ
て居りますが小學校では唱歌の教員が先きへ立つ
てやつて居ります。

之に要する舞臺の背景書割や衣裳、室内の裝飾
は皆子供の繪と手工とで作られ、科白と詩とは平
生國語で學ぶ所と連絡があり動作の美は體操なり
作法教授に關係する所、昔話の筋なり衣裳なり
は直接歴史で取扱ふ所であります、音樂の美も文
學としての詩なり對話なりの價値も舞臺の上で初
めて十分に發揮され得るので學校芝居はすべての
美育科の總練習とも見るべきものであります。

總て藝術の價値といふものは、見る人をして其
の中に惹き入れてしまふ處にあります。而して演
劇は最も其の力を持つて居るもので、吾々の感情
を美しくも、こまやかにせしめ、思想や感情を圓
満に、角を出さずに、自由に外界へ發表するもの
であります。役者が一般にイヤミのない氣持のい
い感じを與へますのも、即ちこれが爲めでありま
す、我々の體操にも此の目的が含まれ居るのであ
ります。體の動作や形を美しくするといふことが
要求されて居ります、學校芝居は、かういふ目的
の爲めにも、價値があります。かういふ立場から
獨逸では學校芝居が盛んに行はれて居るのであり
ます、獨り昔話に止らないで史劇のウキルヘルム
テルなども盛んに演ぜられて居ります。田舎の小學
校へ行きますと、實際の森を背景にして、子供芝
居をさせる所もあります。

初等教育の分化

最後に申上げ度いことは、初等教育上の仕事がそれ／＼分化されて来たといふことであります。従來の教育の仕方は、例へば耳の遠い爲めに頭腦は明瞭でも成績の劣等な子供に對して、あの子供は低能兒であるといふやうに取扱つて来てゐたのであります。近來醫學上の進歩に伴つて、段々精密に調べたつて來まして、さういふ子供の爲めに難聴兒學校が出来、又低能兒の爲めに補助學級は次第に補助學校として獨立する様になりました。また成績の宜い優等な子供の爲には、選抜學級とかA學級とかいふ様な比較的程度の高い學級が出来、又、體の弱い子供は森の學校で教育するか、或は運動場に教室を移して外氣中で教授する様になり、又子供が學校から歸りましても、親が仕事に出て留守であるといふやうな家庭の子供には、其の子供を預つて保育をする保護所が出来るといふやうに、それ／＼教育上の仕事は分化して

來たので、従つて其の教育する場所が著しく増加し、或は子供の體格性能を検査して、その子供を相當な學校へ送るといふやうな試験所が出来、或は兒童學の博物館で出来るとか、兒童學の實驗所が出来るとか、其の仕事が複雑になつて來たのであります。就中實業補習學校とが之に類した低度の實業教育は非常な發展をして來たのであります、これ等も日本の教育者の大に注意すべき點であらうと思ひます。かういふ風に各種の教育の機關が分化して來た爲めに、これに要する教師の養成が問題になつて來てゐるのであります。單に師範學校を出ただけではいけない、其の上に専門的な知識を持つた人でなければ、ならないのです。と云つて職人を連れて來て先生にするといふやうなことは、人格の劣等な爲めに、到底行はれ難い事柄であります。適當なる教師を得るといふことは今後益々困

難になつて來やうと思はれるのでありますから、日本の教育社會では前以て斯ういふ問題をも解決

して置きたいのであります、これで今日の講演の大體を終えたので御座います。(終)

モンテッソリの教育

此の一篇は「心理研究」三月號に掲載したるものですが幼児教育に直接の關係を有する新問題ですから本誌に再録しました。

倉 橋 惣 三

近頃教育上の新問題と云へば、獨逸のケルシエンシュタイネル氏等の唱導して居る作業主義教育と、伊太利のモンテッソリ女史に依つて實行されて居る所謂モンテッソリ式教育法とであらう。元來、教育上の新主義が起るには、其の原因とも理由とも云ふべきものがある。従來の教育主義に對する思想上の反動から起ることもある。新しい時代の實際上の要求に促されることもある。或はまた、教育の基礎學としての心理學上の

根據から立てられて行くこともある。而して作業主義教育が其の精神に於いては、必ずしも最新のものでなく、亞米利加等では疾から説かれて居ることなるにも拘らず、更に此の新しい名稱を以つて獨逸の學者に唱導されるやうになつた譯は、蓋し時代の實際的の要求も大に與つて居ること、思はれる。所謂、「役に立つ教育」といふことの實際上の註文が次第に切迫して來た結果とも見られる。然し作業主義教育のよつて立つて居る基礎は、かういふ實際上の必要のみではない。もう一